

今回は、1年生のオンラインセミナー 第20回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第20回 土屋司法書士事務所

◆専門サービス業

法律は私たちの生活とは切っても切れないものでありながら、なかなか馴染みにくいものだと思います。当事務所では法律が皆さんの味方となるよう日々お手伝いをさせていただいています。



SDGs	取組中		今後の目標	
------	-----	---	-------	---

◆オンラインセミナー「関ジモト大学online」に参加した生徒の感想

- ・土屋司法書士事務所は、さまざまなSDGsへの取り組みを行っていました。最初、私は、司法のことに関する目標16「平和と公正をすべての人に」しか取り組めないのではないかと勝手に思い込んでいました。しかし、目標16以外にも、たくさんの目標に取り組んでいました。例えば、生活保護申請の同行支援を行うことで、目標1「貧困をなくそう」につながります。また、学校や児童養護施設へ行き法教育をすることで、目標4「質の高い教育をみんなに」に取り組むこともできます。例に出したことは司法書士のメインの仕事ではないですが、司法書士として支援するという形で行われています。これらもとても大切な役割の1つだとわかりました。また、こうしたSDGsの取り組みは、つい最近始めたことではなく、ずっと以前から司法書士の業務の一環として行われていることだそうです。与えられた仕事だけでなく、その職業を介してできることを見つけて、よりよい地域社会を目指したいという土屋さんの考えと目標はとてもすばらしいものだと思います。

- ・オンライン申請などが広がってきたことによる紙資源の使用削減（ペーパーレス化）

が進んでいることで、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」が実行できていることがわかった。

- ・司法書士の仕事は目に見えないインフラである、という言葉が印象的だった。
- ・法律を私たちの身近なものにするために、法律に関する相談会などを定期的に行っていることを初

めて知った。相談会を行うことで、法律に関して相談したいことがある人にとっては、特に法律を身近に感じることができるのだとわかった。こうした活動が、地域貢献にもつながっているのだと思う。